

「にいがた市民大学」運営委員会 会議概要

第 3 回 「にいがた市民大学」運営委員会	
開催日時	令和3年9月21日（火） 午後6時00分～午後7時30分
会場	新潟市生涯学習センター交流ホール2
出席者	委員：荒川学長、追手委員（委員長）、阿曾委員、飯村委員、田中委員、中村委員、橋本委員 以上7名 事務局：生涯学習センター所長、所長補佐、センター職員3名
内容	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) [報告]</p> <p>①令和3年度 市民大学公開講座について</p> <p>◎報告資料1-1～1-2に基づき、事務局から令和3年度に行った「ミュージアムから見た新潟」の公開講座「千曲川と信濃川～流域の文化と特徴～」、「認知症とともに～安心して暮らせる社会づくり～」の公開講座「希望と尊厳をもって暮らし続ける～認知症当事者からの発信」の実施概要について、報告しました。</p> <p>→質問や意見はありませんでした。</p> <p>②令和3年度 市民大学後期講座プログラムについて</p> <p>◎報告資料2に基づき、事務局から「ヒトにも自然にもやさしい街中の移動を考えよう」及び「ミュージアムから見た新潟」の後期ゼミナールの概要について説明しました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の表面の第4回目の内容が自転車ツーリズムの内容になっていないようだが。 <p>→4回目の内容に誤りがあったので訂正する。</p> <p>③令和3年度 臨時休館に伴う市民大学講座延期について</p> <p>◎報告資料3に基づき、事務局から、延期となった講座の延期後の日程等について説明を行いました。</p> <p>→質問や意見はありませんでした。</p> <p>(2) [協議]</p> <p>①令和4年度以降 にいがた市民大学のあり方について</p> <p>◎協議資料1に基づき、事務局から令和4年度以降の市民大学のあり方について説明しました。また、橋本委員から、来年度実施する特別講座の概要について説明がありました。</p> <p>【主な質問・要望等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局が、親子向けの特別講座を実施することで、新潟を学ぶ場の提供ができる、と特定していたが、今回の講座案では、どこが新潟に関係しているのか。 <p>→第1回目の講座で、郷土にゆかりのある作家を紹介しながら日本の伝統文化である日本画を知識として学ぶ。その絵画がどうやって描かれているのかと</p>

いう体験が第2回、第3回という形で進んでいく。

- ・受講対象者である子どもの年齢はどう考えているか。
- 一番低いところでは小学校低学年の1年生からを考えている。
- ・1年生から3年生は集中することや、郷土の作家について理解することが難しいのではないか。
- 郷土の作家を知るということで、親は郷土の作家技法、伝統文化というものを知る経験を積める。子どもは講義を全て吸収することはできないかもしれないが、親の関心と子どもの中で会話が生まれる。子どもは体験を通して、親子で参加したプログラムの記憶が残る。親子で参加というのは市民大学では向いていないかもしれないが、今回初めての取り組みであり、子どもは体験を通して何か学ぶものはあるのではないか。
- ・子どもの感性をすごく大事にしていなければならないと思う。親は知識でいいと思うが、子どもは綺麗だというような感性の部分に訴えかけるようなものがある。作品づくりは形になるのがいいと思う。低学年でやるなら、作品の良し悪しではなく作品作りの過程を楽しんでほしい。
- ・学校以外の学びの場を市民大学で子ども向けにやってみるということで、やってみて今後どういう風につながっていくかというのがまだよく見えてこないが、一回やって終わりではなくて次に繋がると思う。
- ・絵画ということで、子どもは作ったものを持って帰ることができるのか。
- 作ったものは持ち帰れるようにする。

②令和4年度 前期講座プログラム(案)について

◎協議資料2-1に基づき、事務局から令和4年度の大学コンソーシアム連携講座案について説明しました。その後、協議資料2-2に基づき、事務局から前期プログラム(案)の投票結果等を説明した後、各委員からそれぞれ講座の趣旨や内容についてご意見をいただき、講座案の絞り込みを行いました。

【主な質問・要望等】

- ・大学コンソーシアム連携講座案の第9回目、「社会を変えるワイヤレス」の内容のところだけ、ですます調になっている。
- ・「佐渡島の金山～世界に誇る文化遺産の価値を学ぶ～」講座案については、世界遺産に登録される前に学んだ方がいいのと、誘客効果が高い点からも実施してはどうか。
- ・「睡眠の科学～心安らぐ眠りを求めて」講座案については、心安らぐ眠りをしたい人はたくさんいるのではないかと、という点から実施してはどうか。
- ・「脱炭素社会(カーボンニュートラル)入門」講座案については、広く総合的な話をしてから、一人一人の生活の衣食住という視点でも語り、その後、また大きいところに戻ってくるというのが学習の流れとしていいのではないかと。多くの方が講座案に賛成しているので、実施してはどうか。
- ・「孤立」から「支え合い」へ」講座案については、子どもをめぐる貧困の問題は大きいと思うので、正面から取り上げるのは非常にいい取り組みだと思う。現場の映像を講義で流すのもいいのではないかと。実際に新潟市や新潟県、日本で行われている孤立からの支援の仕組みも紹介しながら実施してはどうか。
- ・「優しく紐解く日本の美」講座案については、「古庭園を知る」講座と「お茶を楽しむ」講座を融合して実施してはどうか。時代とともに変化している伝統技法も紹介するといいいのではないかと。

③令和3年度 にいがた市民大学関係3者スケジュールについて

◎協議資料3に基づき、事務局から令和3年9月～令和3年12月のにいがた市民大学関係3者スケジュール(案)について説明しました。

	→質問や意見はありませんでした。
	3 閉会
傍 聴 者	0名
会 議 資 料 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 報告資料 1-1 令和3年度(第27期) にいがた市民大学「ミュージアムから見た新潟」公開講座「千曲川と信濃川～流域の文化と特徴～」実施概要 ・ 報告資料 1-2 令和3年度(第27期) にいがた市民大学「認知症とともに～安心して暮らせる社会づくり～」公開講座「希望と尊厳をもって暮らし続ける～認知症当事者からの発信～」実施概要 ・ 報告資料 2 令和3年度(第27期) 市民大学後期講座プログラム「ヒトにも自然にもやさしい街中の移動を考えよう」 令和3年度(第27期) 市民大学後期講座プログラム「ミュージアムから見た新潟」 ・ 報告資料 3 臨時休館に伴うにいがた市民大学講座延期について ・ 協議資料 1 にいがた市民大学 開設講座体系(案) ・ 協議資料 2-1 令和4年度(第28期) 大学コンソーシアム連携講座(案) ・ 協議資料 2-2 令和4年度(第28期) 市民大学前期講座プログラム(案)一覧 ・ 協議資料 3 令和3年9月～令和3年12月 にいがた市民大学関係3者スケジュール(案) ・ 参考資料 令和4年度(第28期) 市民提案講座応募講座案一覧(非公開)